



印字範囲 224×302mm

周囲はプロット用トンボ付きの余白となります



■カットパスの作成について

1. プリントするデータとレイヤーを分けて作成します

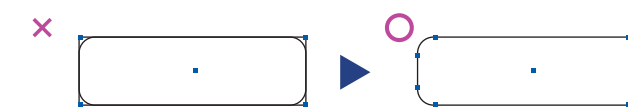
C（シアン）やM（マゼンタ）など1色でお作りいただくのが一般的です。



2. 絵柄の周囲を一筆書きになるように「一続きの線」で作成してください。



カットパスは、パス自体の形が切り抜きたい形になっている必要があります。「アピアランス」や「効果」などの機能で変型しているパスは見た目と異なる仕上がりになりますので、カットパスには使用しないでください。



3. カットラインは文字やイラストなど切れて困るオブジェクトから1mm以上の間隔をあけてください。背景のあるシールは、「塗りたし」（カットラインより背景を大きく）を作成してください。

カットパスと絵柄の間隔：1mm以上



特に小さいシールの場合は
カットの若干のズレでもズレが目立った仕上がりになる可能性があります。
カットラインに少し余裕をとる事が、シールをデザインする際のコツです。

- ④隣り合うシール同士のカットラインは、5mm以上離れるように配置してください。



◎絵柄は制作レイヤーか新しいレイヤーで、カットラインはカットパスレイヤーで作業をお願いします。

◎シートは B4 ですが、有効印字範囲は224×302mmとなります。（ピンクの線内）

◎シール周囲に白い部分を出したくない場合は、塗り足しを作成してください。（カットパスの外側までのばす）

◎全て4色（CMYK）または1色（K）で作成してください。（RGB・特色データ不可）

◎文字はアウトライン化してご入稿ください。（書式メニュー⇒アウトラインを作成）

◎入稿用データは別名保存し、開いたバージョンで保存をお願いします。

（cs5で作成した場合は、cs5で保存して下さい。）

◎印刷機の特性上白色の再現ができません。データ上で白くぬられた部分はシール紙の色になります。

（クラフトシールをお選びいただいた場合などご注意ください。）